

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	物質・生命情報工学実験B		
英文授業科目名	Materials and Bioinformatics Engineering Laboratory B		
開講年度	2005年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	3
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	野上、安井、平野、三瓶、佐野、石田、桑原、仲村、山崎、本波		
居室	東6-816(野上)、東6-828(平野)、東6-821(石田)、東6-936(安井)、東6-708(三瓶)、東6-905(佐野)、東6-639(仲村)、東6-703(山崎)、東6-109(桑原)		

公開E-Mail	授業関連Webページ
野上 安井 平野 三瓶 佐野 石田 仲村 山崎 桑原 本波<honnamai@i	

【主題および達成目標】
物理化学および生物化学の基礎となる11個の実験テーマを通して、講義では得られないより深い理解を得ることを目標とする。あわせて、報告書の書き方も指導する。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
物理化学、基礎量子論、基礎生物学、量子化学、生物化学、分子分光学、電子物性工学

【教科書等】
物質・生命情報工学実験Bのテキスト

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

物理化学および生物化学の基礎となる11個の実験テーマを通して、講義では得られないより深い理解を得ることを目標とする。あわせて、報告書の書き方も指導する。

5人程度で1実験グループを組み、下記の1~10のテーマを1日1テーマの割合で行う。最後に、全学生を2グループに分け、おのおののグループが1日ずつ、下記11の分子軌道計算を行う。

- 1 ベンゼン誘導体の分子軌道（電荷移動錯体の観察と分子軌道計算）
- 2 可視紫外吸収スペクトルによるpK値の測定
- 3 光学回折（レーザー光の回折現象）
- 4 神経活動の測定（嗅電図）
- 5 真空蒸着（金属薄膜の作成とその電気的性質）
- 6 酵素反応速度論（インペルターゼによるスクロースの加水分解反応）
- 7 電解重合による導電性ポリマーの合成とその応用
- 8 蛍光および励起スペクトルによるエキサイマーの検出
- 9 粉末X線回折（格子定数と格子型の決定、未知試料の同定）
- 10 高温超伝導体の伝導度の温度変化、マイスナー効果、永久電流確認実験
- 11 分子軌道計算

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

遅刻および欠席はいっさい認めない。11回の実験テーマを行うことが最低必要条件。11回の実験のレポートを教官に見てもらい、合格印をもらわねばならない。1つでも合格印をもらわないテーマがあれば不合格。

【オフィスアワー：授業相談】

【学生へのメッセージ】

多くのテーマは講義で履修した内容なので、実験を通して理解を深めてもらいたい。講義で充分とりあげていないテーマもあるが、それらはどれも物理化学、生物化学のすばらしさを体験してもらうために採用した有名なテーマなので、実験を楽しんでほしい。予習・復習をよくして、実験内容をよく理解してのぞまないと実験時間の無駄になる。

【その他】